

平成16年度 終了課題	NO.	開始	終了	主任研究者	所属施設	研究課題名
○	81	14	16	植村 和正	名古屋大学病態内科学 免疫応答内科学	要介護状態に応じた介護サービスに関する実証研究－立案された介護サービス計画の質の評価に関する研究
○	82	14	16	大川 弥生	国立長寿医療センター・研究所 老人ケア研究部	在宅高齢者に対する訪問リハビリテーションのプログラムとシステムに関する研究
○	83	14	16	三野 善央	大阪府立大学社会福祉学部	老人精神疾患患者の経過に及ぼす家族の感情表出の影響
○	84	14	16	遠山 茂樹	東京農工大学工学部機械システム工学科	超強力サンドイッチ型超音波モータを用いたパワーアシストスーツの実用化
○	85	14	16	長田 久雄	桜美林大学大学院国際学研究所 老年学専攻	高齢者の社会参加に関連する要因の解明と支援システム構築に関する研究
○	86	14	16	水村 和枝	名古屋大学環境医学研究所	高齢者の筋・骨格系の痛みに対する鍼灸及び徒手の治療法の除痛効果に関する基礎的および臨床的研究
○	87	14	16	北島 政樹	慶應義塾大学医学部外科学教室	漢方薬(十全大補湯)による術後感染症予防

<痴呆・骨折臨床研究事業>

平成16年度 終了課題	NO.	開始	終了	主任研究者	所属施設	研究課題名
	1	16	17	丸山 和佳子	国立長寿医療センター研究所 老化機構研究部 生化学・代謝研究室	霊長類を用いたアルツハイマー病に対する経口治療薬の開発とその臨床応用の試み
	2	16	17	植木 彰	自治医科大学附属大宮医療センター 医学部	痴呆の予防・治療と食事栄養
	3	16	17	朝田 隆	筑波大学臨床医学系 精神医学	痴呆性疾患の介入予防に関する研究
	4	16	17	田口 明彦	国立循環器病センター研究所 循環動態機能部脳循環研究室	再生医療的手法による、脳血管性痴呆症および虚血性脳血管障害に対する早期診断および予防法の確立に関する研究
	5	16	17	武田 雅俊	大阪大学大学院・医学系研究科 ポストゲノム疾患解析学講座プロセシング異常疾患分野	痴呆のスクリーニング及び早期診断法の確立に関する臨床研究
	6	16	17	長田 乾	秋田県立脳血管研究センター 神経内科学研究部	ICD-10分類に準拠した脳血管性痴呆症の診断手順に関する研究
	7	16	17	足立 啓	和歌山大学システム工学部	従来型施設における痴呆性高齢者環境支援指針の適用による環境改善手法の開発と多面的評価
	8	16	17	遠藤 英俊	国立長寿医療センター病院 内科	痴呆性高齢者におけるケアサービスの質の評価に関する研究
	9	16	17	石神 昭人	東京都老人総合研究所 加齢臓器障害研究グループ	アルツハイマー病の早期診断、治療戦略の開発
	10	16	17	鷺見 幸彦	国立長寿医療センター病院 神経内科	痴呆疾患の医療と福祉の役割分担と連携に関する地域モデル構築と検証
	11	16	17	新飯田 俊平	国立長寿医療センター研究所 老年病研究部	骨及び関節疾患の診断・治療薬の開発に関する研究
	12	16	17	伊東 昌子	長崎大学 医学部・歯学部附属病院	骨折リスク予測のための次世代型骨強度評価システムの開発
	13	16	17	鳥羽 研二	杏林大学医学部 高齢医学教室	寝たきりの主要因に対する縦断介入研究を基礎にした介護予防ガイドライン策定研究
	14	16	17	高岡 邦夫	大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科	骨粗鬆症に伴う大腿骨頸部骨折の効果的かつ効率的予防に関する臨床的研究
	15	16	17	松下 隆	帝京大学医学部整形外科	高齢者の大腿骨頸部骨折後のADLの維持に関与する因子の解明と術後生活の自立を維持する治療法の確立
	16	16	17	原田 敦	国立長寿医療センター病院 第一整形外科	ヒッププロテクターによる介護施設の大股骨頸部骨折予防研究－製品差の検討－
	17	16	17	永富 良一	東北大学大学院医学系研究科	転倒骨折予防運動訓練の効果改善プログラムの研究
	18	16	17	大川 弥生	国立長寿医療センター研究所 老人ケア研究部	病棟・居室棟でのリハビリテーションと在宅自立支援に関する研究－WHO・ICFモデルに立った個別性重視の医療と介護の連携
	19	16	17	高橋 泰	国際医療福祉大学 医療福祉学部	軽度機能低下者の介護予防プログラム作成と評価に関する研究
	20	16	17	宮井 一郎	特定医療法人大道会 ポバース記念病院	脳卒中患者の機能回復促進に関する研究
	21	16	17	中村 利孝	産業医科大学 医学部整形外科	高齢者の脊柱変形と躯幹短縮による生活機能低下の実態の解明と予防法の開発
	22	16	17	高田 和子	独立行政法人 国立健康・栄養研究所 健康増進研究部	虚弱高齢者の自立度と身体活動及び栄養の関係に関する実践研究
	23	16	17	峰松 一夫	国立循環器病センター病院	わが国におけるStroke unitの有効性に関する多施設共同前向き研究
	24	16	17	戸山 芳昭	慶應義塾大学医学部 整形外科教室	高齢者の腰痛症に係るより効果的かつ効率的な診断、治療、介護及びリハビリテーション等の確立に関する研究

【子ども家庭総合研究事業】

<子ども家庭総合研究事業>

平成16年度 終了課題	NO.	開始	終了	主任研究者	所属施設	研究課題名
----------------	-----	----	----	-------	------	-------

平成16年度 終了課題	NO.	開始 終了	主任研究者	所属施設	研究課題名
○	1	14 16	坂上 正道	早稲田医療学園人間総合科学大 学	乳幼児突然死症候群の診断のためのガイドライン作成およびその 予防と発症率軽減に関する研究
○	2	14 16	小林 正子	国立保健医療科学院生涯保健部 行動科学室	乳幼児から思春期まで一貫した子どもの健康管理のための母子 健康手帳の活用に関する研究
○	3	14 16	中村 好一	自治医科大学地域医療センター	快適な妊娠・出産を支援する基盤整備に関する研究
○	4	14 16	鈴木 薫	名古屋市立大学大学院医学研究 科	日本人女性の葉酸代謝関連酵素遺伝子多型と先天異常(神経管 欠損症およびダウン症候群等)の発生予防効果に関する基礎的 研究
○	5	14 16	日暮 眞	東京家政大学児童学科小児学第 二研究室	子育て時における両親の相談ニーズ把握及び保健医療福祉ス タッフ支援モデル研究事業
○	6	14 16	鴨下 重彦	社会福祉法人賛育会賛育会病院	小児科産科若手医師の確保・育成に関する研究
○	7	14 16	稲葉 裕	順天堂大学医学部衛生学教室	生涯を通じた健康の管理・保持増進のための健康教育・相談支援 等の充実に関する研究
○	8	14 16	天野 恵子	千葉県衛生研究所	日本における女性医療の課題に関する医療社会学的研究ならび に性差を加味した健康度及び生活習慣の測定手法の評価に関する 研究
○	9	14 16	佐藤 郁夫	自治医科大学医学部産科婦人科 学教室	望まない妊娠、人工妊娠中絶を防止するための効果的な避妊教 育プログラムの開発に関する研究
○	10	14 16	服部 祥子	大阪人間科学大学人間科学部人 間環境学科	児童虐待発生要因の解明と児童虐待への地域における予防的支 援方法の開発に関する研究
○	11	14 16	本間 博彰	宮城県子ども総合センター	児童虐待に対する治療的介入と児童相談所のあり方に関する研 究
○	12	14 16	金 吉晴	国立精神・神経センター精神保 健研究所成人精神保健部	母親とともに家庭内暴力被害を受けた子どもへの心理的支援の ための調査
○	13	14 16	山口 規容子	社会福祉法人恩賜財団母子愛育 会総合母子保健センター愛育病 院	地域における子育て支援システムの構築と普及に関する研究
○	14	14 16	山本 茂	徳島大学大学院ヘルスパイオサイ エンス研究部	子どもの発達段階に応じた効果的な栄養・食教育プログラムの開 発・評価に関する総合的研究
○	15	15 16	渡邊 修一郎	昭和大学医学部小児科	健やか親子21推進のための学校における思春期の心の問題に 対する相談システムモデルの構築
○	16	15 16	松田 宣子	神戸大学医学部保健学科	保健師による母子保健活動における児童虐待リスクアセスメント ツールの開発
○	17	15 16	高橋 重宏	日本子ども家庭総合研究所子ど も家庭福祉研究部	児童虐待防止に効果的な地域セーフティーネットのあり方に関する 研究
○	18	15 16	加藤 曜子	流通科学大学サービス産業学部 医療福祉サービス学科	家庭支援の一環としての虐待親へのペアレンティングプログラム 作成
○	19	15 16	鈴木 力	聖徳大学短期大学部保育科	被虐待児の心身の機能回復に向けた家族支援のあり方に関する 研究
○	20	15 16	伊志嶺 美津 子	関東学院大学人間環境学部	子ども家庭支援プログラムの開発に関する研究
○	21	15 16	寺川 直樹	鳥取大学医学部産婦人科学教室	女性の各ライフステージに応じた健康支援システムの確立に向け た総合的研究
	22	15 17	新道 幸恵	青森県立保健大学	10代の女性の人工妊娠中絶減少にむけての支援モデルの構築
	23	15 17	藤内 修二	ヘルスプロモーション研究セン ター	市町村母子保健計画の見直しと推進に関する研究
	24	15 17	岡村 州博	東北大学大学院医学系研究科	地域における分娩施設の適正化に関する研究
	25	15 17	三砂 ちづる	津田塾大学学芸学部国際関係学 科	妊娠・出産と母子の長期的経過についての縦断研究
	26	15 17	岡井 崇	昭和大学医学部産婦人科学教室	多施設共同ランダム化比較試験による早産予防の為の妊婦管理 ガイドラインの作成
	27	15 17	本城 秀次	名古屋大学発達心理精神科学教 育研究センター	母子関係障害についての精神医学的・発達心理学的研究ー母子 関係障害解決・予防のための基礎研究ー
	28	15 17	杉山 登志郎	あいち小児保健医療総合センタ ー	被虐待児への医学的総合治療システムのあり方に関する研究
	29	15 17	西澤 哲	大阪大学大学院人間科学研究科	児童福祉機関における思春期児童等に対する心理的アセスメント の導入に関する研究
	30	15 17	北村 俊則	熊本大学大学院医学・薬学研究 部	周産期母子精神保健ケアの方策と効果判定に関する研究
○	31	14 16	古山 順一	関西看護専門学校	遺伝子医療の基盤整備に関する研究
	32	15 17	及川 郁子	聖路加看護大学小児看護学	小児慢性特定疾患患者の療養環境向上に関する研究
	33	15 17	中川原 章	千葉県がんセンター	難治性神経芽腫の克服に向けたトランスレーショナルリサーチの 基盤づくりと臨床研究ネットワークの構築
	34	16 18	山縣 然太郎	山梨大学大学院・医学工学総合 研究部	健やか親子21の推進のための情報システム構築および各種情 報の利活用に関する研究
	35	16 18	吉田 敬子	九州大学病院精神科神経科	育児機能低下と乳児虐待の評価パッケージの作成と、それを利用 した助産師と保健師による母親への介入のための教育と普及
	36	16 18	水嶋 春朔	東京大学医学教育国際協力研究 センター	健やか親子21の推進のための乳幼児健診等の機会を活用した 家族の望ましい健康生活習慣形成に関する研究

平成16年度 終了課題	NO.	開始	終了	主任研究者	所属施設	研究課題名
○	37	16	16	高村 寿子	自治医科大学看護学部	性に関する思春期保健教育のためのマニュアルの開発と教材作成に関する研究
	38	16	18	橋本 武夫	聖マリア病院	妊娠・出産の快適性確保のための諸問題の研究
	39	16	18	吉村 泰典	慶応義塾大学医学部産婦人科学教室	生殖補助医療の安全管理および心理的支援を含む統合的運用システムに関する研究
○	40	16	16	田中 哲郎	国立保健医療科学院生涯保健部	子どもの事故予防のための市町村活動マニュアルの開発に関する研究
○	41	16	16	竹中 浩治	財団法人ヒューマンサイエンス振興財団	予防接種の実施率向上のための母子保健の現場における活動マニュアルの開発に関する研究
	42	16	18	加藤 忠明	国立成育医療センター研究所成育政策科学研究部	小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価・情報提供に関する研究
	43	16	18	三科 潤	東京女子医科大学母子総合医療センター	新生児聴覚スクリーニングの効率的実施および早期支援とその評価に関する研究
	44	16	18	山口 清次	島根大学医学部	わが国の21世紀における新生児マスキングのあり方に関する研究
	45	16	18	檜山 英三	広島大学自然科学研究支援開発センター	登録症例に基づく神経芽細胞腫マスキングの効果判定と医療体制の確立
	46	16	18	平原 史樹	横浜市立大学大学院医学研究科生殖生育病態医学産婦人科学	先天異常モニタリング・サーベイランスに関する研究
	47	16	18	三池 輝久	熊本大学大学院医学薬学研究部小児発達学分野	引きこもりに繋がる小児慢性疲労、不登校の治療・予防に関する臨床的研究
	48	16	18	五十嵐 隆	東京大学大学院医学系研究科生殖発達加齢医学専攻小児医学講座	小児難治性腎尿路疾患の早期発見、診断、治療・管理に関する研究
	49	16	17	重松 秀夫	独立行政法人国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科	てんかん児童の社会自立をめざした包括的地域支援のための早期療育援助法の確立に関する研究
○	50	16	16	濱中 喜代	東京慈恵会医科大学医学部看護学科	気管切開を行って退院する子どもと家族へのケア提供者の教育と教育効果の評価に関する研究
○	51	16	16	神尾 陽子	九州大学大学院人間環境学研究院	乳幼児健康診査における高機能広汎性発達障害の早期評価及び地域支援のマニュアル開発に関する研究
	52	16	18	小枝 達也	鳥取大学教育地域科学部	軽度発達障害児の発見と対応システムおよびそのマニュアル開発に関する研究
	53	16	18	石井 朝子	東京都精神医学総合研究所	家庭内暴力被害者の自立とその支援に関する研究
	54	16	18	村井 美紀	東京国際大学人間社会学部	要保護年長児童の社会的自立支援に関する研究
	55	16	18	七木田 敦	広島大学大学院教育学研究科附属幼年教育研究施設	中学生と乳幼児の交流が相互の発達に与える効果に関する研究－保育者による次世代育成をめざした子育て支援プログラムの立案と実施－
	56	16	17	詫間 晋平	川崎医療福祉大学医療技術学部	地域における子どもに係る犯罪・事故回避に関する研究
	57	16	17	山縣 文治	大阪市立大学大学院生活科学研究科	地域における子どもと家庭に関する相談支援体制のあり方に関する研究
	58	16	18	柏女 霊峰	日本子ども家庭総合研究所子ども家庭福祉研究部	子ども家庭福祉サービス供給体制のあり方に関する総合的研究
	59	16	17	金子 恵美	日本社会事業大学	児童福祉施設等職員の資質向上に関する研究－就学前の児童の保育・子育て支援の専門性と資質向上－
	60	16	17	森 望	大分大学教育福祉科学部	児童福祉関係職員の資質の向上に関する研究
○	61	16	16	菅原 ますみ	お茶の水女子大学大学院人間文化研究科	子どもと家庭を対象とした総合評価票の開発に関する研究
	62	16	18	才村 純	日本子ども家庭総合研究所ソーシャルワーク研究部	保育所、学校等関係機関における虐待対応のあり方に関する調査研究
	63	16	18	加藤 和生	九州大学大学院人間環境学研究院	保育園での児童虐待の早期発見・対策にかかわる諸問題の解明と対策システムの構築
	64	16	18	藤村 正哲	大阪府立母子保健総合医療センター	アウトカムを指標としベンチマーク手法を用いた質の高いケアを提供する「周産期母子医療センターネットワーク」の構築に関する研究
	65	16	18	吉池 信男	独立行政法人国立健康・栄養研究所健康・栄養調査研究部	若い女性の食生活はこのままで良いのか？ 次世代の健康を考慮に入れた栄養学・予防医学的検討
	66	16	18	渡辺 久子	慶応義塾大学医学部小児科学教室	思春期やせ症と思春期の不健康やせの実態把握および対策に関する研究

＜小児疾患臨床研究事業＞

平成16年度 終了課題	NO.	開始	終了	主任研究者	所属施設	研究課題名
	1	15	17	松浦 信夫	聖徳大学	小児2型糖尿病に対する経口血糖降下薬治療のエビデンスの確立：特にメトホルミンの至適投与量、有効性と安全性の研究
	2	15	17	吉川 徳茂	和歌山県立医科大学	小児難治性腎疾患に対する薬物療法ガイドライン作成のための多施設共同研究と臨床試験体制整備
	3	15	17	宮島 祐	東京医科大学	小児科における注意欠陥・多動性障害に対する診断治療ガイドライン作成に関する研究
○	4	14	16	中村 秀文	国立成育医療センター	小児・新生児におけるフェンタニルの用法・用量の確立と、有効性・安全性の評価

平成16年度 終了課題	NO.	開始	終了	主任研究者	所属施設	研究課題名
○	5	14	16	越後 茂之	国立循環器病センター	先天性心疾患における大血管狭窄に対するカテーテルインターベンションによる拡大術の短・長期予後に関する多施設共同研究
○	6	14	16	小崎 健次郎	慶應義塾大学医学部	小児科診療における効果的薬剤使用のための遺伝子多型スクリーニングシステムの構築に関する研究
○	7	14	16	大澤 真木子	東京女子医科大学	小児のけいれん重積に対する薬物療法のエビデンスに関する臨床研究
○	8	14	16	牧本 敦	国立がんセンター中央病院	小児肉腫に対する至適治療確立を目指した臨床試験とその基盤整備に関する研究
○	9	14	16	古賀 靖敏	久留米大学医学部	小児期発症のミトコンドリア脳筋症に対するL-アルギニンおよびジクロロ酢酸療法の効果判定と分子病態を踏まえた新しい治療法開発に関する臨床研究

【第3次対がん総合戦略研究事業】

<第3次対がん総合戦略研究事業>

平成16年度 終了課題	NO.	開始	終了	主任研究者	所属施設	研究課題名
	1	16	18	広橋 説雄	国立がんセンター研究所	ヒト多段階発がん過程における遺伝子異常の把握に基づいたがんの本態解明とその臨床応用に関する研究
	2	16	18	中釜 斉	国立がんセンター研究所生化学部	疾患モデルを用いた発がんの分子機構及び感受性要因の解明とその臨床応用
	3	16	18	田矢 洋一	国立がんセンター研究所放射線研究部	ヒトがんで高頻度に変異の見られるがん関連遺伝子の発がんにおける意義の解明とその臨床応用に関する研究
	4	16	18	立松 正衛	愛知県がんセンター研究所	ヒト腫瘍の発生と進展に関わる分子病態の解析とその臨床応用
	5	16	18	中川原 章	千葉県がんセンター研究局生化学研究部	ゲノム情報に基づいた個体発生と発がん・進展に関連する新規遺伝子の同定およびその機能的意義の解明と臨床応用に関する研究
	6	16	18	安井 弥	広島大学大学院医歯薬学総合研究科	放射線障害に基づく発がんの分子機構の解明とその予防・治療への応用
	7	16	18	横田 淳	国立がんセンター研究所生物学部	がんの生物学的特性の分子基盤の解明とその臨床応用に関する研究
	8	16	18	吉田 輝彦	国立がんセンター研究所腫瘍ゲノム解析・情報研究部	がんの臨床的特性に関する分子情報に基づくがん診療法の開拓的研究
	9	16	18	秦 順一	国立成育医療センター研究所	難治性小児がんの臨床的特性の分子情報とその理論を応用した診断・治療法の開発
	10	15	17	津金 昌一郎	国立がんセンター研究所支所(臨床疫学研究部)	生活習慣改善によるがん予防法の開発と評価
	11	15	17	小山 博史	東京大学大学院医学系研究科	がん予防に有用な情報基盤整備に関する研究
	12	15	17	田原 榮一	(財)放射線影響研究所	新規がん予防・早期発見システムを用いた包括的ながん予防の開発研究
	13	16	18	若林 敬二	国立がんセンター研究所がん予防基礎研究プロジェクト	がん化学予防剤の開発に関する基礎及び臨床研究
	14	16	18	神田 忠仁	国立感染症研究所遺伝子解析室	ウイルスを標的とする発がん予防の研究
	15	16	18	大島 明	大阪府立成人病センター調査部	効果的な禁煙支援法の開発と普及のための制度化に関する研究
	16	15	17	土屋 了介	国立がんセンター中央病院	新しい検診モデルの構築と検診能率の向上に関する研究
	17	15	17	斉藤 大三	国立がんセンター中央病院内視鏡部	新しい診断機器の検診への応用とこれらを用いた診断精度の向上に関する研究
	18	15	17	山田 哲司	国立がんセンター研究所化学療法部	がん検診に有用な新しい腫瘍マーカーの開発
	19	15	17	山下 義博	自治医科大学ゲノム機能研究部	早期膵臓がん検出マーカーの同定
	20	16	18	森山 紀之	国立がんセンターがん予防・検診研究センター	革新的な診断技術の開発に関する研究
	21	16	18	鈴木 隆一郎	大阪府立成人病センター研究所	革新的な診断技術を用いたこれからの肺がん検診手法の確立に関する研究
	22	16	18	森 正樹	九州大学生体防御医学研究所	医療費削減と患者負担軽減をめざした癌の新しい分子遺伝学的診断法の開発
	23	16	18	金子 安比古	埼玉県立がんセンター化学療法部	癌の新しい診断技術の開発と治療効果予測の研究
	24	16	18	間野 博行	自治医科大学医学部・ゲノム機能研究部	DNAチップによる急性白血病の新規分類法提案
	25	16	18	三木 一正	東邦大学医学部医学科	胃がんスクリーニングのハイリスクストラテジーに関する研究
	26	16	18	野村 和弘	国立がんセンター中央病院	がん治療のための革新的新技術の開発研究
	27	16	18	西條 長宏	国立がんセンター中央病院薬物療法部	新しい薬物療法の導入とその最適化に関する研究
	28	16	18	江角 浩安	国立がんセンター研究所支所	新戦略に基づく抗がん剤の開発に関する研究

平成16年度 終了課題	NO.	開始	終了	主任研究者	所属施設	研究課題名
	29	16	18	小財 健一郎	久留米大学高次脳疾患研究所	独自開発した多因子による癌特異的増殖制御型アデノウイルスベクターによる革新的な癌遺伝子治療法の開発
	30	16	18	葛島 清隆	愛知県がんセンター研究所・腫瘍免疫学部	がん特異的細胞傷害性T細胞活性化に基づく免疫治療の構築
	31	16	18	吉田 茂昭	国立がんセンター東病院	QOLの向上をめざしたがん治療法の開発研究
	32	16	18	内富 庸介	国立がんセンター研究所支所精神腫瘍学研究室	QOL向上のための各種患者支援プログラムの開発研究
	33	16	18	山口 建	静岡県立静岡がんセンター	がん生存(Cancer survivor)のQOL向上に有効な医療資源の構築研究
	34	16	18	濃沼 信夫	東北大学大学院医学系研究科	がん医療経済と患者負担最小化に関する研究
	35	16	18	谷水 正人	国立病院四国がんセンター	患者の視点を重視したネットワークによる在宅がん患者支援システムの開発
	36	15	17	祖父江 友孝	国立がんセンターがん予防・検診研究センター情報研究部	がん予防対策のためのがん罹患・死亡動向の実態把握の研究
	37	16	18	若尾 文彦	国立がんセンター中央病院放射線診断部	効果的ながん情報提供システムに関する研究
	38	16	18	丸山 英二	神戸大学大学院法学研究科	地域がん登録の法的倫理的環境整備に関する研究
	39	16	18	手島 昭樹	大阪大学大学院医学系研究科	その他、がんの実態把握とがん情報の発信に関する特に重要な研究

<がん臨床研究事業>

平成16年度 終了課題	NO.	開始	終了	主任研究者	所属施設	研究課題名
○	1	14	16	斉川 雅久	国立がんセンター東病院外来部	頭頸部がんのリンパ節転移に対する標準的治療法の確立に関する研究
○	2	14	16	大野 竜三	愛知県がんセンター	難治性白血病に対する標準的治療法の確立に関する研究
○	3	14	16	内藤 誠二	九州大学大学院医学研究院泌尿器科	早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究
○	4	14	16	堀部 敬三	国立名古屋病院 小児科	小児造血器腫瘍の標準的治療法の確立に関する研究
○	5	14	16	渋井 杜一郎	国立がんセンター中央病院 第2領域外来部脳神経外科	悪性脳腫瘍の標準的治療法の確立に関する研究
○	6	14	16	岩本 幸英	九州大学大学院医学研究院 整形外科	高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準的治療法の確立に関する研究
○	7	14	16	霞 富士雄	癌研究会附属病院乳腺外科	標準的な乳房温存療法の実施要項の研究
○	8	14	16	安藤 暢敏	東京歯科大学市川総合病院外科学講座	食道がんに対する術後標準的治療法の確立に関する研究
○	9	14	16	大津 敦	国立がんセンター東病院 消化器内視鏡部	がんの腹膜播腫に対する標準的治療の確立に関する研究
○	10	14	16	原田 実根	九州大学医学研究院病態修復内科学	固形がんに対する骨髄非破壊的移植前治療を用いた同種末梢血管細胞移植法の標準的治療の確立に関する研究
○	11	14	16	高上 洋一	国立がんセンター中央病院 薬物療法部 薬物療法室	固形がんに対する同種細胞免疫療法を用いた標準的治療法の確立に関する研究 転移固形腫瘍を対象としたミニ移植の安全性と有効性の検討
○	12	14	16	福岡 正博	近畿大学医学部内科学腫瘍内科部門	その他、がんに対する標準的治療法の確立に関する研究
○	13	14	16	青木 大輔	慶應義塾大学医学部 産婦人科	子宮体がんに対する標準的化学療法の確立に関する研究
	14	15	17	渡辺 亨	国際医療福祉大学臨床医学センター、山王メディカルプラザオンコロジーセンター	再発高危険度群乳がんの予後改善を目指した標準的治療法確立に関する研究
	15	15	17	嘉山 孝正	山形大学医学部付属病院	転移性脳腫瘍に対する標準的治療法確立に関する研究
	16	15	17	嘉村 敏治	久留米大学医学部	子宮頸がんの予後向上を目指した集学的治療法における標準的治療法の確立に関する研究
	17	15	17	伊東 久夫	千葉大学大学院医学研究院	子宮頸癌術後リンパ節転移に対する治療法適正化の研究
	18	15	17	北野 正剛	大分医科大学第一外科	進行大腸がんに対する腹腔鏡下手術の根治性に関する研究
	19	15	17	谷口 修一	虎ノ門病院血液科	若年者骨髄性造血器腫瘍を対象とした骨髄破壊の前処置と骨髄非破壊的前処置を用いた同種末梢血幹細胞移植の比較検討(第Ⅲ層ランダム化盲検比較試験)
	20	15	17	波利井 清紀	東京大学医学部形成外科	上顎・頭蓋底がんの切除と再建手術の標準化に関する研究
	21	15	17	平岡 真寛	京都大学大学院医学研究科	先進的高精度三次元放射線治療による予後改善に関する研究
	22	16	18	西條 長宏	国立がんセンター中央病院薬物療法部	がん臨床研究の戦略的推進及び効率的均てん化のための研究
	23	16	18	池田 恢	国立がんセンター中央病院放射線治療部	地域がん診療拠点病院の機能向上に関する研究
	24	16	18	大江 裕一郎	国立がんセンター中央病院特殊病棟部	効果的かつ効率的ながん専門医の育成方法に関する研究